

2021年度（43期） 事業計画書

自：2021年4月 1日

至：2022年3月31日



公益財団法人 関西盲導犬協会

京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷 18-2

公益財団法人 関西盲導犬協会 2021年度事業計画書
(2021年4月1日—2022年3月31日)

はじめに

社会・経済活動に重大な影響を及ぼしている新型コロナウイルスは、今だ収束する気配を見せず、2021年度もその影響が継続するものと考えられる。そのため事業計画のなかでも、フレンドドッグや啓発普及事業など、感染拡大状況により計画変更が必要となる事業については、「新型コロナ禍の状況により判断する」等の柔軟性を持たせた表記とした。新型コロナ禍の収束が見込まれる状況になれば、それらの事業が速やかに実施・実現できるよう努力するものとする。

1. 公益事業部門

1-1. 盲導犬および視覚障がいに関する事業

(1) 盲導犬貸与計画

① 育成目標

今年度は、10頭の盲導犬を視覚障がい者に貸与する。

② 新規盲導犬ユーザー獲得の取り組み

盲導犬貸与を希望する視覚障がい者への対応を充実するとともに、次年度以降の貸与予定者への継続的なアプローチに力を入れる。

(2) 盲導犬ユーザーへのケア（フォローアップ）

① これまでの一指導員による専任制から、訓練士等も一定数の盲導犬ユーザーを担当する兼任制を導入し、フォローアップ体制を再編する。

② 盲導犬に対する予防的医療費の助成を継続する。

③ 引退を控えた盲導犬に対する健康診断を継続実施する。

(3) 犬の育成・ケア

① 子犬45頭を上限に、パピープログラムに投入するための繁殖を行う。

② AGBN (Asian Guidedog Breeding Network) をはじめとする、国内外の協力先と連携し、繁殖業務の向上を図る。

③ 「凍結精液を利用した繁殖」を継続する。

④ 他の盲導犬協会等から繁殖犬・訓練犬の導入を図る。

⑤ ワクチン接種費用を含むリタイア犬への医療費補助を継続する。

⑥ 公益社団法人京都市獣医師会と連携し、協会所有犬の健康管理体制を継続する。

(4) 訓練部の体制変更

異動により新しく就任する訓練部長のもと、これまでの体制を継続しつつも、業務内容等の見直しを図る。

(5) 訓練部職員のスキルアップ

① 認定NPO法人全国盲導犬施設連合会が主催するセミナーならびに研修会へ職員を派遣する。

② 訓練担当職員2名の訓練士資格取得を目指す。

③ 訓練士1名を2年後の盲導犬歩行指導員資格取得に向け養成する。

(6) 盲導犬貸与委員会

公正な盲導犬貸与と盲導犬ユーザーサービスを実施するため、第三者委員と職員で構成する盲導犬貸与委員会の開催を継続する。

(7) フレンドドッグ

- ①高齢者福祉施設等の訪問を継続する。昨年度から新型コロナ禍のため活動を休止しているが、再開については、新型コロナ禍の状況により判断する。
- ②亀岡市の委託による亀岡市内の保育園・こども園での活動を実施する。
- ③フレンドドッグ委員会において活動の在り方および事業化の検討を行う。

(8) 調査研究

京都大学大学院文学研究科との「犬の個体差形成」に関する共同研究を継続する。

1-2. 相談事業

(1) 苦情ならびに相談に関する対応

盲導犬ユーザーからの相談や苦情、一般市民からの盲導犬に関する相談や苦情に対して、相談担当職員、各フォローアップ担当者、第三者委員が連携して迅速な対応を図る。

(2) 他機関との連携

他団体の盲導犬に関する苦情に対して、全国盲導犬施設連合会と連携のうえ、行政窓口への報告を行い、早期解決を図る。

1-3. 啓発普及事業

(1) 啓発普及活動

- ①新型コロナ禍の状況によりオンラインで実施する等、月1回の見学会を継続する。
- ②盲導犬ユーザー主体の啓発普及活動を継続するとともに、オンラインによる活動を検討する。
- ③機関誌「ハーネス通信」を年4回発行する。
- ④ホームページや各種 SNS を通じての情報発信を継続する。
- ⑤行政ならびに視覚障がい者団体等と連携した啓発普及活動を継続する。
- ⑥新たに啓発相談部長を就任させ、啓発普及活動の継続と業務内容の見直しを図る。

(2) 協会主催・共催イベント

- ①「盲導犬 Loves フェスタ(旧オープンデー)」、「慰霊の日」、「ボランティアズ・デー」については、新型コロナ禍の状況により実施の可否や開催方法を判断する。
- ②「盲導犬貸与報告会」は、オンラインなど開催方法を検討したうえで実施する。
- ③京都府視覚障害者協会をはじめとする各種団体との共催イベントに協力する。

2. 管理部門

(1) 収入と支出に関する取り組み

- ①会員、募金箱設置、街頭募金など、収入の基盤に対する働きかけを継続する。
- ②クラウドファンディング、ホームページ、各種 SNS など、ネットを通じた寄付募集を推進するとともに、従来からの各種パンフレットやチラシ配布などによる募集も継続し、増収に向けた取り組みを強化する。
- ③街頭募金活動については、新型コロナ禍の状況により実施の有無を判断する。
- ④引き続き、支出の削減に努める。

(2) 労働環境の整備

必要に応じて就業規則の改定や労務管理方法等を見直す。

3. 施設整備ならびに備品購入等

(1) ホームページの改訂

タイムリーな情報発信ができるようホームページの内容の見直しを図る。

(2) 情報発信のための機器購入

SNS等、オンラインによる情報発信のための機材を購入する。

(3) 助成金申請により訓練車両1台を入れ替える。

4. その他

(1) 職員の配置

		正職員数	嘱託職員	訓練士・指導員資格取得年
管理部門	所長	1		1999年（指導員）
	経理	1	1	
	渉外	1		
	データ入力	1		
	総務	1		
	募金箱回収			1
公益部門	訓練部長 （歩行指導員兼任）	1		2002年
	歩行指導員	2		2014年1名 2016年1名
	盲導犬訓練士	1		2021年1名
	パピー担当者	1		
	繁殖担当者	1	1	2008年（訓練士）
	木香テラス担当者	2	1	2008・2011年（訓練士）
	訓練研修生	2		
	啓発相談部長 （歩行指導員兼任）	1		2002年
	啓発普及			1
計		16	5	

※木香テラスは、犬管理棟の名称

(2) 施設について

①施設の場所 〒621-0027 京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2

②敷地面積

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2（5,715.71㎡）

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-3（2,486㎡）

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-4（393㎡）

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷24-2（105.98㎡）

③建物

a. 訓練センター棟（鉄筋コンクリート2階建て・旧犬舎含む）：826㎡

b. 観察犬舎（鉄骨平屋建て・犬室4室）：94.60㎡

c. ハーネス研修センター（木造2階建て・宿泊室3室）：122.84㎡

d. 木香テラス（木造一部2階建て）：540.39㎡